

ロゴス システムズ インターナショナル プレゼンツ

大宇宙 「マクロベース」 探査記

キャプテン・アークレンジャー
とARC-200の冒険

www.LogosVisionSystem.com



CHARTING THE MACROVERSE

エピソード1：七峰の叡智

エピソード1：七峰の叡智

昔々、マクロバースの彼方でー

邪悪なるノミナル卿の魔の手が静かに大宇宙へと忍び寄っていた。「ログの聖域」はその力に蝕まれ、警告の声を失い、やがては緑色の無邪気なメッセージを繰り返す虚ろな「反響室」と化してしまった。

マクロバースの労働者たちは偽りの警報なき日々々に歓喜した。だがその裏で、報告書を整理し削除するという日々々の営みを乱されることを次第に激しく拒むようになっていった……。

そんな混沌の中で、キャプテン・アークレンジャーは知っていた。ノミナル卿の正体を暴く唯一の方法は、マクロバース全域に広がる粒子ビームのイオン軌跡を追跡できるほど精巧なビーム観測器を作り上げることだと。

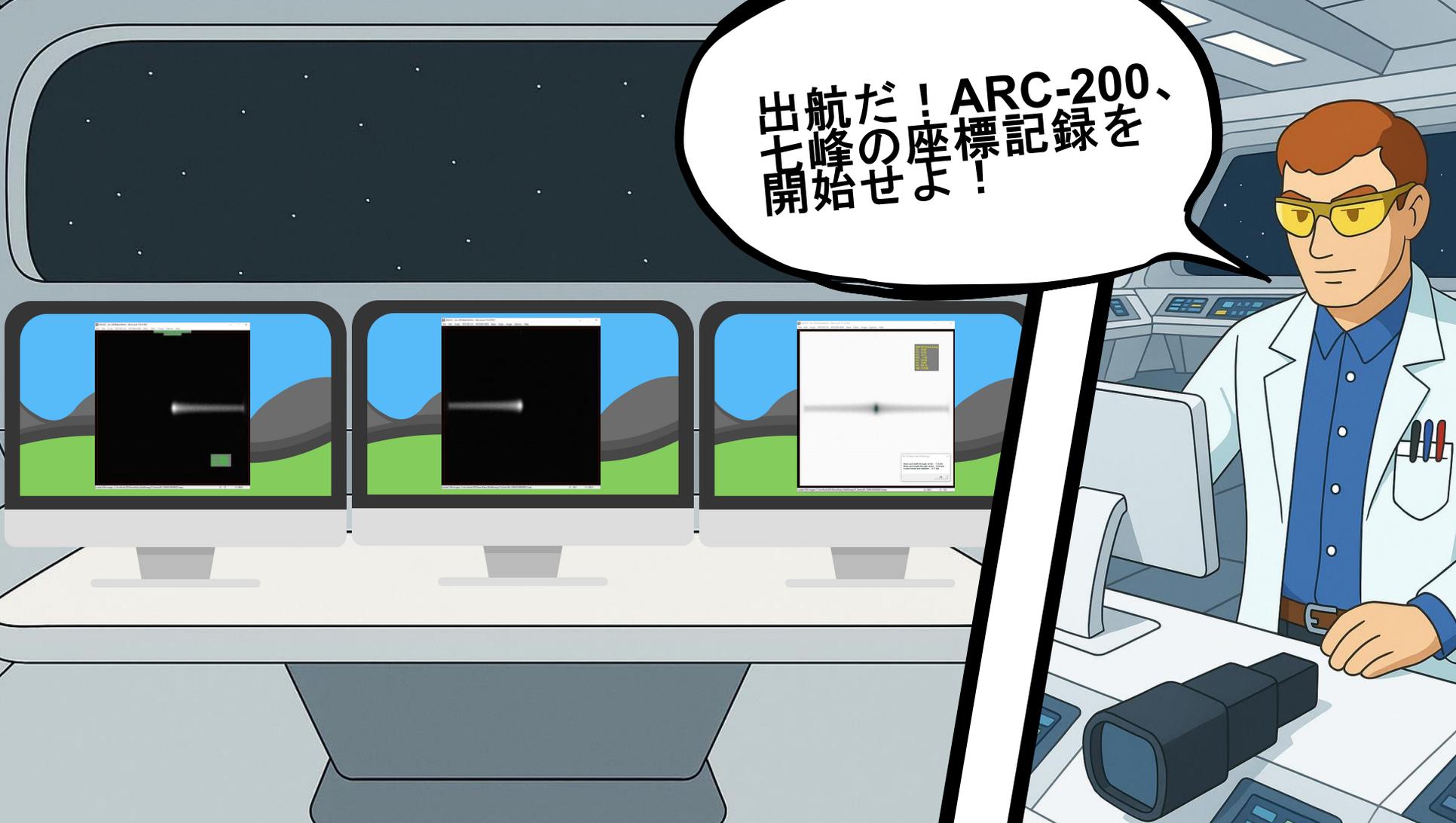
このベクトル検出装置は、回転中心座標をリアルタイムで計測・記録し、「ログの聖域」が真の独立性を欠き、そこに潜む微細な誤りを暴き出す決定的な証拠を集めるであろう。

そして、キャプテンは、新たなるビーム観測用ファントムを「ARC-200」と名付けた。



キャプテン・レンジャーは、ARC-200ファントムを彼の宇宙船のコンピューターに接続した。そして、伝説の「七峰の叡智」へと至る航路を描き出した。

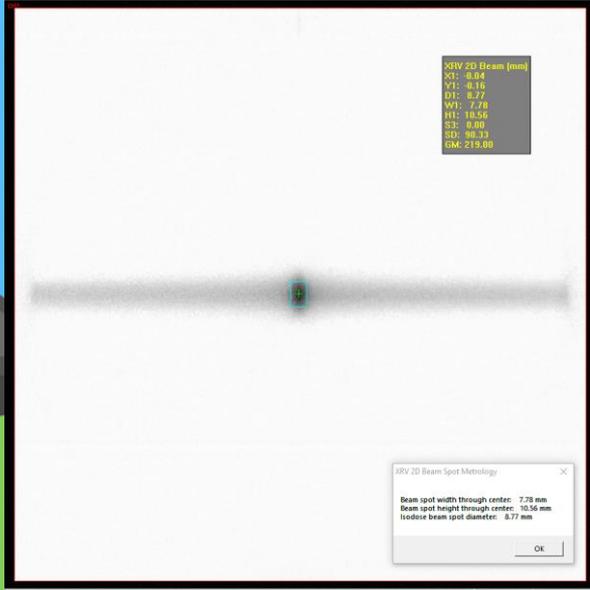
出航だ！ARC-200、
七峰の座標記録を
開始せよ！



操縦席の奥から、キャプテンは見つめていた。陽子粒子の奔流がマクロバースを駆け抜け、右から、そして左から交差していく。

やがて陽子イオンは速度を失い、停止すると同時に、そこにはまばゆい光の領域が生まれた。

WinUVS - Arc-200 BeamWorks - Slice Level 117 of 825
File Edit Script XRV100/124 XRV200-400 Read Video Image Options Help



Loaded 356 Images: C:\ArcWorks\200-DemoData_MultiEnergy19_Gantry90_100MAJ\00000001.bmp X: 268.7 Y: 6.0

BeamWorks Strata

QA Plan Capture QA Plan Review Ranger/Profile View Beam Trend Analysis MLC/PBS Trend Analysis Script Control Settings

Beam 4 file data loaded successfully.

Load Select Capture Data for Review (Active capture display mode) Previous Next

C:\ArcWorks\200-2025_0411_0007

Reload Display Current Capture

View Capture Log

7 beams loaded. (Source Hardware: XRV ZXXX) Gain: 30.000 Framerate: 10.000 Shutter: 100.000
Style: General Isocenter Notes

Excel

Excel Analysts

Beamcenter to Target XY Spot Analysis
Dimensional String PBS Energy Analysis
No Macro (Open as CSV) Custom Analysis
Beam Spot Gaussian Fit

Beam

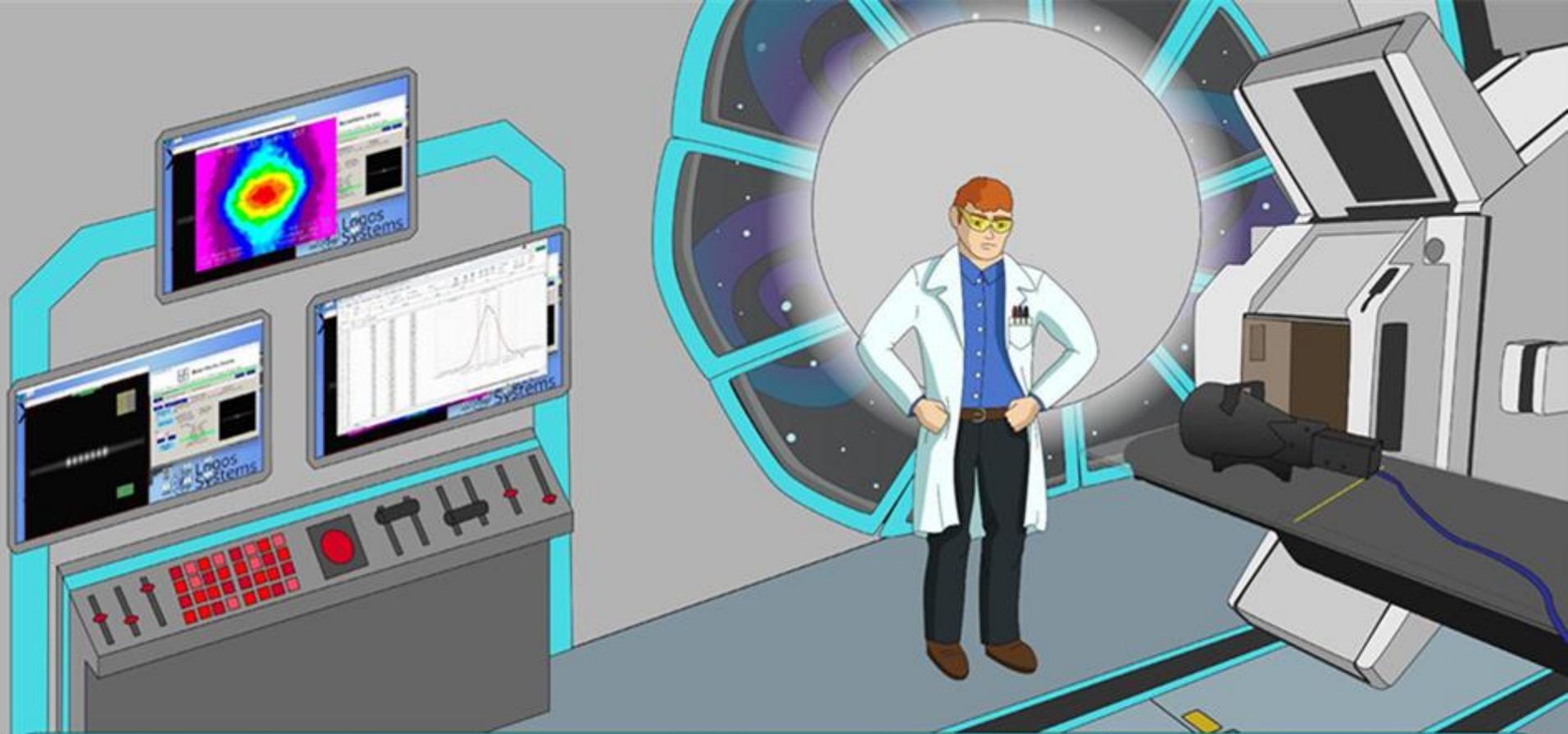
4 of 7

View Beam Profiles

Data Summary

X: -0.03 mm Y: -0.10 mm
Width: 8.45 mm
Height: 10.86 mm
Diameter: 9.21 mm
Max Gray: 216.00
Target Distance: 0.10 mm
Frame Count: 1
Gray x Frame Count: 216.00
Gray x Frame Count (Norm): 3.42

Press F1 for Help Copyright © 2025 Logos Systems Inc



七つの陽子領域は、140、150、160、170、180、190、および200 MeVのビームエネルギーで左右対向の方向から照射される100モニターユニットの線量によって形成される。例えば、最も左の領域は、140 MeVと200 MeVの陽子ビームのブラッグピークが交差する位置である。

キャプテン・アークレンジャー万歳！

彼はついに「七峰の叡智」の正確な位置を描き出したのだ。

こうして「ログの聖域」への信頼は取り戻され、マクロバースの労働者たちは、かつてない生産性を生み出すようになり、マクロバースは再び秩序と希望に満ち溢れた。

—終—

大宇宙 「マクロベース」 探査記

キャプテン・アーレンジャー
とARC-200の冒険

エピソード1：七峰の叡智

www.LogosVisionSystem.com
©ロゴス システムズ インターナショナル

